

地域と、
人と、
やさしさと。

JA YOSHIDA GENERAL HOSPITAL

病院案内
INFORMATION

JA 吉田総合病院



幸せは、健康から

医療・保健・福祉、 三位一体の地域完結型病院として みなさまの信頼に応えます。

当院は現在、急性期の一般病棟209床（地域包括ケア病棟含む）、療養病棟46床、計255床に加え、健康管理センター、人工腎透析センター、在宅介護支援センター、居宅介護支援事業所、医療福祉支援センターを備え、人生のすべてのステージでの健康をサポートしています。へき地医療拠点病院、休日夜間救急診療所としても機能し、医療・保健・福祉の3つを兼ね備えることで、地域のみなさまが安心して暮らしていける体制を整えています。



医療 保健
JA YOSHIDA
GENERAL HOSPITAL
福祉



地域の拠点病院として、 健康を守るのが私たちの使命です。

JA広島厚生連吉田総合病院は、NHK大河ドラマでご存じの毛利元就の里、安芸高田市の唯一の総合病院として、急性期・慢性期医療を提供し、地域の基幹病院としての役割を担っております。また、併設施設として高田地区休日夜間救急診療所、健診事業として健康管理センター、福祉事業として居宅介護支援事業所を有し、一貫した医療・保健・福祉事業を行っております。さらに、へき地医療拠点病院として、無医地区診療所への診療援助や、患者様の受け入れ、医療福祉支援センターを設け、行政・医師会・施設等と連携を強化し、学校医活動や予防接種等の幅広い取り組みも行うなど、今後も地域のみなさまが安心・豊かに生活していただけるよう努めてまいります。



JA 吉田総合病院
病院長 杉山 英二

当院の基本理念

1. 私たちは何人にも平等に医療を提供します。
2. 私たちは地域の基幹病院として、最良の医療を提供します。
3. 私たちは納得と同意のもとに信頼される医療を提供します。

当院の基本方針

1. やさしい心で安全・良質な医療・保健・福祉サービスを提供します。
2. 医療を受ける人びとの人格、権利を尊重し、全ての人に貢献します。
3. 生涯学習の精神を保ち、知識と技術の習得に努めるとともに、医療の質向上に尽くします。
4. 努力と協調で健全経営に努め、明るい職場をつくります。
5. 病院の公共性を重んじ、事業を通じて地域に尽くすとともに、法規範を遵守します。

患者様の権利

1. 良質の医療を平等に受ける権利があります。
2. 診察に関する各種情報の提供を受ける権利があります。
3. 個人としての人格・価値観を尊重される権利があります。
4. 十分な情報提供と説明のもとで、どのような医療を受けるか選択する権利があります。
5. 診療に関する情報やプライバシーは厳正に保護される権利があります。

安芸高田市唯一の総合医療機関として、
高度医療の充実を図ります。



14の診療科を保持し、
あらゆるステージでの健康をサポートします。

内科・外科・小児科・脳神経外科・整形外科・婦人科をはじめ、14の診療科と、大腸、直腸、肛門外来など4つの専門外来、人工腎透析センターを持ち、急性期から慢性期の治療に対応します。高度医療の充実と推進はもちろん、へき地医療拠点病院や休日夜間救急診療所として、地域に密着した医療を提供していきます。



急性期医療

急性期医療は、発症間もない緊急・重症な状態にある患者様に対して、入院・手術・検査など、高度で専門的な医療を行うことです。JA吉田総合病院は、この急性期病院として、夜間救急をはじめ、地域のみなさまのいざという時にしっかりと対応します。



県北の人工腎透析センター

透析患者様は年々増加傾向にあり、当センターでは現在、同時透析28床、連日2シフトで100名余の患者様の血液透析を行っています。通常の透析以外に、腹膜透析（CAPD）、血液濾過透析などの治療や、薬物中毒、敗血症などに対する特殊な血液浄化療法も行っています。



へき地医療拠点病院

当院は、無医地区及び無医地区に準じる地区を対象として、へき地医療支援機構の指導・調整の下に、巡回診察、へき地診療所等への代診医派遣などの医療活動を継続的に実施できると認められる「へき地医療拠点病院」に指定され、その重要な役割を担っています。



休日夜間救急診療所

JA吉田総合病院では、安芸高田市民をはじめ、近隣地域住民の休日夜間医療を補完するために、休日・夜間の専用窓口として「高田地区休日夜間救急診療所」を併設しています。診療には、原則として当院と安芸高田市医師会の日当直医師が、非常勤で対応します。



先進の設備と高度な技術で、
専門医療を提供します。



大腸・直腸・肛門外来

痔は「受診するのが恥ずかしい…」という理由から病院を訪れることなく自分で診断し、間違った薬物治療を続けている人も少なくありません。炎症性腸疾患や大腸がんが隠れていることもあります。自己診断で済ませず、きちんと診察を受けましょう。

乳腺外来

乳腺外来では、乳房に関するさまざまな症状に対して診断を行い、治療方法を示します。自己判断や周りからの情報に惑わされることなく、すぐに受診してください。乳がんの早期発見・早期治療が、縮小手術や長期生命予後につながります。

当院では、より専門的な治療を必要とされる疾患に対応するために、専門外来を設けています。大腸・直腸・肛門外来、乳腺外来、慢性腎臓病外来、セカンドオピニオン外来では、専門医が患者様の症状を詳しく診察しながら、適切な治療を施します。

慢性腎臓病外来

腎臓は肝臓と並び沈黙の臓器と言われ、症状が出にくいいため病気の発見が遅れることがあります。当院ではかかりつけ医の先生方と連携し、慢性腎臓病の患者様を早期から治療します。また慢性腎臓病外来は、人工腎透析センターに併設しているので、透析医療もスムーズに受けられます。

セカンドオピニオン外来

セカンドオピニオンは、現在治療を受けている病院の診療内容や治療法に関して、主治医からの診療情報により、当院の専門担当医の判断・意見を提供し、患者様ご自身の診断・治療に際して参考にしていただくものです。治療法に迷ったり、不安を感じたり、大きな外科的手術を受けるよう勧められた時などに有効です。



すべては患者様のために。
やさしさで、心とからだをケアします。

院内感染の防止に努め、 安心・安全の入院環境を整えています。

院内感染を未然に防ぐためには、EBM (科学的根拠に基づく医療) による感染対策はもちろん、多職種が参加するチーム医療としての組織づくりが基本となります。感染対策チームとリンクナースが連携を取りながら、感染に関する勉強会、現場での手洗い・手指消毒のトレーニング、職務感染の防止対策勉強会、各部署のラウンド(巡回)を定期的に行っています。

患者様の心と体を癒し、 安心安全な食事の提供に努めます。

安芸高田市は豊かな自然に囲まれ、さまざまな食材に恵まれています。当院では広島県産のお米とバリエーション豊富なおかずを取り揃え、旬の食材や行事食などで季節を感じていただき患者様の心身を癒すだけでなく、病態やアレルギーに合わせた食事内容で、衛生的かつ健康的な食事をご提供させていただいています。



危機管理室を中心に院内セキュリティに努め、 安全を守ります。

当院は院内の安全を守るため、院内暴力を警察に通報するシステムを設けています。また防犯カメラを全病院出入口に設置、“暴力・暴言ノー”ポスターを掲載するなどして、危機管理室を中心に万全の安全体制を取っています。



**地域を担う病院として、
真心のこもった看護を提供します。**

**地域の人たちが、
自分らしく生活できるために、
一人ひとりに向き合った看護を提供します。**

JA吉田総合病院は広島県の北部で毛利元就ゆかりの地、安芸高田市にある地域の基幹病院です。その昔、地域のみなさまが最良の医療を求めて自分達の手で設立された歴史があり、予防のための健診活動から、急性期・回復期・精神看護・透析・在宅看護まで人生のあらゆるステージでの健康をサポートしています。



人材育成

看護は人から。
充実の教育システムで、
笑顔のスペシャリストを育成します。

感性が豊かで自己啓発ができる看護師を育てるために、さまざまな教育システムを備えています。



キャリア開発支援

JA広島厚生連クリニカルリーダーを使用し、個人のキャリアニーズと組織のニーズが一致することをめざしています。魅力ある研修を行い、新人看護師だけでなく、すべての看護師のキャリア向上と自立した看護師育成を行っています。

新人教育

新人看護師はプリセプターと実地指導者のテクニカルナースがサポートします。教育主任と科長、それに教育責任者もがっちりサポートします。先輩のスタッフもみんなで新人看護師の成長をあたたく見守る職場風土があります。

長期修学制度

認定看護師を目指す方に最適な制度です。資格取得のために3カ月を超える修学に対して、助成金の支給やその間の待遇保証などで資格取得を支援します。看護教育養成機関・その他資格取得のための養成機関や大学・大学院への編入などにも適用されます。



看護の専門性

看護の専門性を発揮して
地域に貢献します。

専門的な知識・技術をもつ看護師が地域の皆様や医療従事者の方々の相談に応じ、「認知症看護専門外来」、糖尿病療養指導士による「フットケア看護専門外来」で、住民の方々が安心して生活できるよう支援しています。

認知症看護専門外来

認知症看護認定看護師 川上 香奈

当院では、認知機能の低下した方が安心して入院生活を送ることができるよう認知症看護の専門性向上に取り組んでいます。認知症看護専門外来では、地域の認知機能の低下された本人・家族・支援者からの相談対応をさせていただいております。

緩和ケア
認定看護師 竹田 恵美

病気になった時、身体的な苦痛や気持ちのつらさを少しでも和らげるサポートを行うことが緩和ケアの役割となります。今を生きることを支えながら思いに寄り添える看護を提供していきたいと考えております。

皮膚・排泄ケア
認定看護師 小野 明美

皮膚のトラブルや創傷のケア、特に褥瘡予防、ストーマを造設される方への入院前から退院後まで継続した支援をしています。生活・介護の中で大切な分野と意識し、質の良い看護の提供が出来るようスタッフへの指導にも力を入れています。

摂食嚥下障害看護
認定看護師 繁村 亜矢

患者様の「食べたい」を支援していくために摂食嚥下機能の評価や姿勢の調整、食事介助、口腔ケアなどを実施しています。誤嚥性肺炎、窒息、低栄養、脱水を予防し、病棟看護師とともに患者様のQOLの向上を目指して支援を行っています。

感染管理
認定看護師 田中 千苗

安全で安心な医療を提供できるよう、感染防止対策活動に取り組んでいます。医療関連感染防止のため、院内の感染対策実施状況の把握や改善活動を行っています。他施設との連携の役割も担い、地域を含めた感染管理を実践しています。

フットケア看護専門外来

看護師 糖尿病療養指導士 徳本美由紀

糖尿病を持つ方で足のしびれや痛みなどの症状や爪切りが難しい方を対象に専門の看護師が一人ひとりに合わせたお手入れや方法を提供します。糖尿病や足についてお悩みの方はフットケア看護専門外来までご連絡下さい。



家族のために、
自分のために。

地域のみなさまの、
疾病予防と健康増進に努めます。

「がん」「高血圧」「糖尿病」「脳卒中」「心筋梗塞」等の生活習慣病の多くは自覚症状のないまま進行します。症状が出る前に発見し、適切な治療を早期に受けることで悪化を防ぎ健康寿命を延ばすことができます。当センターでは、人間ドッグをはじめ、企業健診や特定健診など、さまざまな健診コースとオプション検査を揃えています。





健診コース

■ 人間ドック

身体各部位の検査後、医師による総合判定を行い、保健師が精密検査の相談や生活習慣病予防についての指導を行います。

■ 脳ドック

MRI・MRA検査と頸動脈エコーにより脳梗塞・脳出血・脳腫瘍・動脈瘤などの変化や血液検査など脳以外の検査も行い、総合的に判定します。

■ 企業健診

企業には労働安全衛生法により、健康診断が義務付けられています。当センターでは、全国健康保険協会の指定医療機関となっています。

オプション検査

乳がん検診 子宮がん検診 低線量肺CT 前立腺がん
骨粗鬆症検査 大腸内視鏡検査 など



健診の流れ

健診予約

案内書発送

健診当日

受付・採尿・更衣

各検査

採血・胸部X線・計測・心電図
超音波検査・マンモグラフィー・子宮頸がん
胃X線・胃内視鏡

等

診察

結果説明・最終確認
精密検査案内

会計

結果発送



患者様に選ばれる病院をめざして、
さまざまな活動で
地域のみなさまに貢献します。

地域医療連携室

地域医療連携室では、病院と地域が連携し、患者さんが住み慣れた地域で安心して暮らせる体制づくりに取り組んでいます。患者さんの思いと地域とのつながりを大切に地域と病院の懸け橋となるべく様々な業務を行っています。

紹介予約受付業務

地域の医療機関からの受診予約受付や、他院への紹介予約などの業務を行っています。予約を取っていただく事で診療の待ち時間短縮にもなりますので、ぜひご利用ください。かかりつけ医の紹介等、地域の医療機関との橋渡しをしています。

広報活動

患者さんや地域の関係機関への広報活動を行っています。市民公開講座の開催、医療・福祉関係者向けの研修会の企画・運営など地域への情報提供、情報発信も行っています。

患者相談窓口

- ①入院や外来受診される患者さんは、疾病や事故により、障害が残ったり、医療的管理やケアが継続して必要になるなど、様々な生活上の問題が生じることがあります。医療ソーシャルワーカーは、患者さんやその家族の抱える経済的・心理的・社会的問題の解決、調整を援助し、社会復帰の促進も含め医療福祉分野の様々な相談・援助を行っています。
- ②患者相談窓口では、患者さん・ご家族からのご相談やご意見をお伺いしています。ご心配な事、お困りの事、お気づきの事がございましたら、お気軽にご相談ください。また、“皆さんの声”の箱を院内に設置し、様々な形で患者さんからの声を伺う体制をとっています。頂いたご意見は、病院サービスの向上に役立てていこう、取り組んでいます。



入退院支援室

安心して入院治療ができ、退院後も安心して在宅療養ができるよう、入院前から患者さんに関わる業務を行っています。

■入院支援

患者様の入院が決まった時から、手術や検査の説明を行い、安心して治療・療養できる支援を行っています。

内容

- 手術や検査、療養生活の説明
- 入院生活の準備の支援
- 入院前より患者様の情報を把握し、入院・退院後の相談支援に対応

■転院支援

後方支援病院として、急性期病院、他の医療機関からの転院相談に応じ、安心して医療処置が受けられ、リハビリテーションや療養ができるように努めています。

内容

- 急性期病院で救急救命処置や手術・検査などを受け、状態が安定し、継続加療が必要な方への支援。
- がん患者の緩和ケアへの支援
- 患者様の病状、身体状況などを把握し、アセスメントを行い入院病棟を調整
- 今後の意向を確認し、住み慣れたご自宅や地域の医療機関に戻れるよう、多職種と連携

■退院支援

安心して退院後の生活を送っていただくために、入院前から院内内外の多職種と連携し、退院に向けての支援を行っています。退院前訪問や退院前カンファレンス（退院にむけての準備の話し合い）等を行うことで安心した療養生活につながるよう、取組んでいます。



居宅介護支援事業所

介護支援専門員（ケアマネジャー）が要介護の認定を受けた方に対し、心身の状況等を把握・分析します。在宅で日常生活を営むにあたり、必要な介護サービス、地域の社会資源等を適切に利用できるよう、サービス提供事業者等と調整を行い、ご利用者やご家族と相談の上、サービス計画の作成を行います。計画作成後にはご自宅を定期的に訪問し、ご利用者の生活状況の把握、評価を行います。また在宅介護や在宅生活等に関する相談などを行います。

事業所が総合病院内にある環境を強みに、入院された際は当院スタッフと連携し退院に向けた調整を協働して行います。

サービス提供までの流れ

状況の把握

ご利用者・ご家族と面談し、抱えている問題や解決すべき課題を分析します。

計画の原案作成

在宅サービスの情報を提供し、ご利用者が事業者を選びます。

サービス担当者との連絡・調整

介護支援専門員を中心に、事業者やご利用者・ご家族も参加し、意見交換等を行います。

介護サービス計画の作成

ご利用者の希望や心身の状態をよく考慮して作成します。

利用者様の同意

サービスの内容がご利用者の希望に合っているか確認します。

サービス利用

※業務上知り得た個人情報は、本来の利用目的以外の範囲を超えて利用いたしませんのでご安心ください。

JA吉田総合病院のプロフィール

施設の概要

- 病院長 杉山 英二
- 開設者 広島県厚生農業協同組合連合会
- 開設日 昭和18年4月
- 許可病床数 255床(一般209床(地域包括含む)・療養46床)

特別の療養環境の提供

- 特別室 特別室 7床
- 1人部屋 1人部屋 34床
- 2人部屋 2人部屋 22床

厚生労働大臣の定める施設基準

- 急性期一般入院料4 7対1
- 療養病棟入院基本料 1
- 地域包括ケア病棟入院料 2

診察科目

- 内科
- 小児科
- 外科
- 脳神経外科
- 整形外科
- 婦人科
- 泌尿器科
- 皮膚科
- 眼科
- 耳鼻咽喉科
- 精神科
- 麻酔科
- リハビリテーション科
- 放射線科
- 肛門外科

フロア案内



本館		西館	
6	6階病棟 病室601号～626号 一般病棟	2	西2階病棟 病室201号～223号 地域包括ケア病棟
5	5階病棟 病室501号～521号 療養病棟		
4	4階病棟 病室401号～426号 一般病棟		
3	3階病棟 病室301号～321号 地域包括ケア病棟		

施設認定・学会認定一覧

施設認定

日本医療機能評価機構認定病院
(3rdG:Ver.1.1)

- 協力型臨床研修病院
- 救急告示病院
- へき地医療拠点病院
- 居宅介護支援事業所
- 在宅介護支援センター
- 労災保険指定病院
- 生活保護指定病院
- 肝炎治療指定医療機関
- 精神保健及び精神障害者福祉指定病院



学会認定

- 日本消化器病学会 認定施設
- 日本外科学会 専門医制度修練施設
- 日本大腸肛門病学会 認定施設
- 日本消化器外科学会 専門医修練施設
- 日本透析医学会 専門医制度認定施設
- 日本整形外科学会 整形外科専門医研修施設
- 日本泌尿器科学会 専門医教育施設
- 日本麻酔科学会 麻酔科認定病院
- 日本精神神経学会 専門医制度研修施設
- 日本臨床細胞学会施設
- 日本臨床検査標準協議会・日本臨床衛生検査技師会 精度保証施設
- 日本消化管学会 胃腸科指導施設
- 日本消化器内視鏡学会 指導施設

財)日本医療機能評価機構による病院機能評価
(3rdG:Ver.1.1) 認定病院

- 【主機能】 ・一般病院1(3rdG:Ver.1.1)
- 【副機能】 ・慢性期病院(3rdG:Ver.1.1)
- ・精神科病院(3rdG:Ver.1.1)

沿 革

昭和の初頭、高田郡には無医村が7カ所あり、昭和10年頃、「農民のための農民病院をつくろう」と農民運動がおこり、社会運動家の賀川豊彦氏の協力も得て、高田郡をはじめ山県郡・双三郡を含めた33産業組合、組合員1万5千人の力を結集、昭和18年4月に現在地に54床で開設されました。建設に当たっては、病院建設用地は吉田町より寄付を受け、約4千坪の用地造成工事は吉田町民の勤労奉仕によって行われました。その出発の姿は、保証責任広北医療利用組合連合会吉田病院として開設されており、その後、広島県信用・購買・販売利用組合連合会へ移管され、戦時体制の改革とともに、広島県農業会として再編発足されました。

戦後、昭和22年から農村民主化のための法制度が整い、農協法の制定とともに、農業会の解散、さらに施設連の設立、指導連に改組と続き、昭和26年12月4日に厚生連が独立誕生し、現在に至っております。

昭和20年8月6日の原爆投下の際は広島市内の病院が壊滅し、送られてくる負傷者の介護に吉田小学校まで使用し、約1ヶ月関係者は正に不眠不休で治療や看護に当たりました。当時のカルテは今も大事に保管してあります。患者増のため昭和26年頃には98床となり、昭和29年には結核病床を50床増設し結核患者の収容と治療にありました。昭和35年には県北地域に精神病院がなかったため精神病床を50床増設、昭和39年には更に70床を増設して精神病床は120床、総病床数では257床となりました。

昭和42年には木造の建物から、鉄筋コンクリート4階建てへと全面改修を行い、総病床数は305床となり、診療体制も内科、小児科、外科、整形外科、産婦人科、眼科、耳鼻科、精神科を備えた総合病院となりました。

昭和63年には老人保健施設60床を併設、透析医療も開始しました。平成4年には現在の本館6階建ての病床を新築、開放病床も20床設けました。平成9年には健康管理センターを設置しました。平成12年からは吉田町在宅介護支援センターと居宅介護支援事業所、平成13年度からは地域医療連携室を設け、医師会の先生方と機能連携を図りながら地域医療に取り組んでおります。

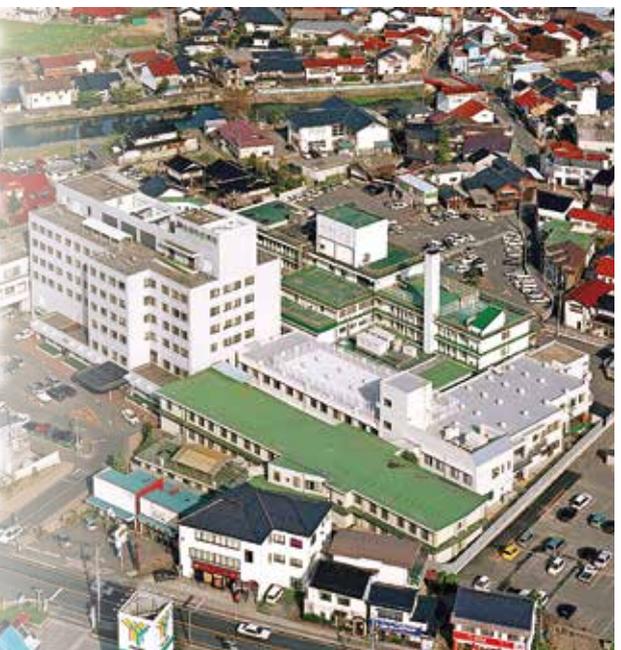
平成26年には急性期治療を経過し、在宅復帰に向けてのリハビリ等を行うことを目的とした地域包括ケア病棟を新たに設置しました。

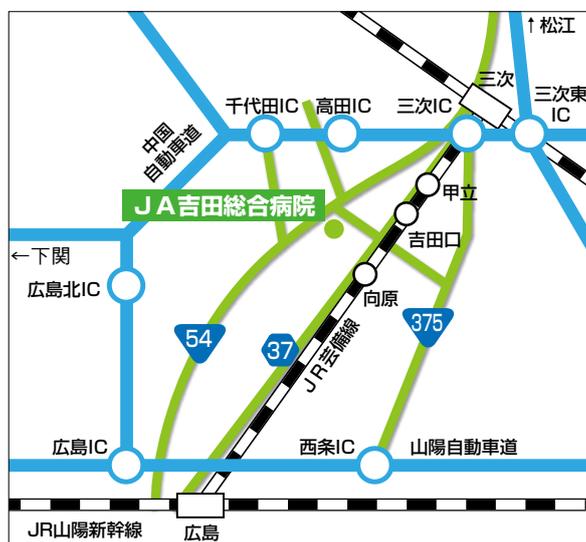
令和3年4月に広島県の地域医療構想により病床機能再編成を行うと共に、事業内容の見直しにより、令和3年3月末をもって老人保健施設のぞみを廃止しました。

施設の老朽化及び地域の少子高齢化による人口減少など総合的に判断し、令和5年3月末をもって精神科病棟56床を廃止しました。

主な沿革

昭和18年 4月	産業組合「吉田病院」として診療開始
昭和63年10月	老人保健施設「のぞみ」開設・人工透析開始
平成 4年 6月	新館病棟完成・増床（一般220床・精神145床）365床
平成 7年 1月	高田地区休日夜間救急診療所開設
平成 8年 4月	精神病床25床廃止340床に
平成10年 2月	改修工事完成（南館・精神病棟）
平成10年 4月	「JA吉田健康管理センター」開設
平成11年 4月	療養型病床設置（54床／一般166床・精神120床）
平成11年10月	在宅介護支援センター・居宅介護支援事業所開設
平成15年 3月	西館完成（老人性痴呆及び精神病床等改築工事）
平成15年10月	臨床研修病院指定
平成23年11月	亜急性期病床設置（4床／一般166床・療養54床・精神120床）
平成26年 4月	DPC対象病院
平成26年12月	地域包括ケア病棟設置
平成30年 3月	「JA吉田健康管理センター」開設（平成30年4月1日より吉田総合病院に帰属）
令和 3年 3月	精神科開放病棟58床廃止、老人保健施設のぞみ廃止
令和 3年 4月	地域医療構想により病床機能再編成（一般209床（地域包括含む）・療養46床・精神56床）
令和 5年 3月	精神科閉鎖病棟56床廃止
令和 5年 4月	地域包括ケア病棟増床





アクセス

- バス 広島電鉄、備北交通利用「吉田総合病院前」下車徒歩1分
- JR・タクシー JR芸備線利用「向原駅」下車タクシーで10分
- 自家用車 中国自動車道「高田インター」から車で15分

広島県厚生農業協同組合連合会

JA吉田総合病院

〒731-0595 広島県安芸高田市吉田町吉田 3666
 TEL(0826)42-0636 FAX(0826)47-0007
<http://yoshida-gene-hospi.jp/>

事業所一覧

- | | | | |
|------------|-----------------------------|------------------|------------------|
| ■ 本部 | 〒730-0051 広島市中区大手町3丁目13番18号 | TEL.082-241-0695 | FAX.082-245-0487 |
| ■ JA尾道総合病院 | 〒722-8508 尾道市平原1丁目10番23号 | TEL.0848-22-8111 | FAX.0848-23-3214 |
| ■ JA広島総合病院 | 〒738-8503 廿日市市地御前1丁目3番3号 | TEL.0829-36-3111 | FAX.0829-36-5573 |